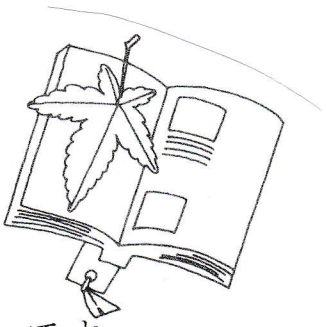

磯津の言葉（諺）（第 23 回）

第 23 回は、前回に引き続き天候に関する諺（ことわざ）です。

＜天候に関する諺 No.2＞

① 風に関するもの

区分	種別	諺（ことわざ）
東風	一般	・マゼが吹くと雨 ・沖風が吹くと雨 ・冬が寒いとマニシが吹く
西風	一般	・西風が吹くと天気。
	梅雨時期	・せつの西風、雨のおば（さん） （＝梅雨に西風が吹くと雨が近い） ・せつの西風、おばさんの餅よかまたい
	その他	・コウショノマゼは昼はござらん、夜ござる ・いっぺん風が三日続く

② 雲に関するもの

区分	種別	諺（ことわざ）
東への移動		・雲が東に下がると晴れ ・西から東に流れる雲が途切れ、山にへばりつくと、明けに風が吹く
西への移動		・雲が（西に）のぼると雨（が近い）
東（＝沖）の空（の雲）		・沖が暗いと雨
西の空（＝山にかかる）（の雲		・西が暗くなるとハヤテ（又は　ひとさめ）が来る ・西の山に（白い）雲がかかると風が吹く ・西の山に白い雲がかかると（西）風が強い
その他		・どうあいに雲が上がると日和が悪くなる （どうあい＝伊勢湾口：神島方面） ・春霞、ちょうちょう雲、馬の尻吹き破る ・雪は山を回っていく （伊吹→御在所→野登→朝熊山）
	巻積雲	いわし雲が出ると天気 うろこ雲が出ると天気
	高積雲	ひつじ雲が出ると天気がいい
	積乱雲	入道雲が東に出ると雨
	その他の雲	・飛行機雲が直ぐに消えていくと晴れ ・飛行機雲が消えないでいると二日後に雨が降る（共に戦後から）

磯津ことばを記録する会（連絡先）　桜井好基